



©JFA/PR



VOL.36 2021.11.16

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

鳥取県

大部 由美さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

鳥取県を3地区(東・中・西)に分け、フェスティバルはその地区で活動している女子チームが主催者となって実施していることが多い。年間計画が不確定となっているので、他カテゴリーとのカレンダー調整と周知・準備の工夫が課題である。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマくなでしこひろばの充実>

今年度は、「なでしこひろば」を新たに開設してくれたチームがあり、少しずつではあるが「なでしこひろばの輪」が広がってきている。今年もコロナ禍で開催回数が確保出来なかったが、今後は定期的な開催に向けサポートしていきたい。鳥取FAは、高校は中学生対象、クラブチームはU12年代を対象と「鳥取スタイル」として定着させ、課題である中学校年代でもサッカーを続けていける流れを作っていきたい。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

コロナ禍で人との関りが希薄となり、地域のパワーダウンが顕著である。現在、公民館と連携し、ウォーキングサッカーを生涯学習講座として広げようと考えている。「以前はサッカーをしていたが、年を重ねたので今は見るだけになってしまっている・・・」という声に「一緒にウォーキングサッカーしましょう!」と働きかけている。老若男女のサッカーファミリー拡大を目指したい。

【今後の目標】

3月7日に「鳥取FA女子サッカーデー」を開催し、約100人の女性が参加してくれました。鳥取県内のサッカーチームに所属する選手（クラブ・高校）が全てを運営し、子どもから大人まで楽しい時間を過ごしました。この様な大規模なフェスティバルを継続開催しながら、参加しやすい生活圏でのフェスティバルを定期的に開催していきたい。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

島根県

田中 淳さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

島根県は東西に約230kmと非常に長く、サッカー協会も4地区(支部)に大きく分けられ活動しています。それぞれの地区(支部)事に拠点施設を中心に、各種別の活動が盛んに行われている現状にあります。生活エリアとも言えるそれぞれの地区(支部)を飛び越え、活動する例はごく僅かであり、故に「女子サッカー」は、活動する機会が少ないこともあり、それぞれの地区(支部)内で留まることが多く見られます。

昨年、一昨年とこれらの現状をリサーチし、2021年度は、活動実績の少ない地域でのフェスティバル、なでしこひろばの開催を実施しました。出雲地区を中心に活動を行っている「ディオッサ出雲FC」の

選手、監督、スタッフ、OGらが片道2時間強を移動し、選手が実施内容をオーガナイズし、全て実施するスタイルで参加者約50名とともに、楽しい時間、機会の創出を行いました。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

先に述べました現状と課題を踏まえたうえで、県内全域でフェスティバルやなでしこひろばを開催し、機会を創出することが喫緊の課題と捉えています。

そこで、各地区(支部)におけるキーマンを見つけ、こまめにコミュニケーションをとり、開催に向けしっかりと計画を練ることが重要であり、実施後の参加者のフォローなど、その地域における「顔の見える関係」構築がとても重要であると考えています。

女子サッカーの普及は、女子サッカー選手が行うことがとても重要であると考え、地区(支部)にいないのであれば、積極的に移動するスタンスで実施しました。

普及コーディネーターとして、人と人を繋げる役割、時間と場の設定、女子選手が主体的に動ける仕掛け、これらがとても重要な要素として活動しています。



【FA、自治体、クラブ等との関わり】

島根県FA内で活動している「キッズ委員会」「障がい者サッカー委員会」との連携が2021年も重点的に行いました。

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を記念し、ブラインドサッカーを出雲市内において、4種クラブチーム、ディオッサ出雲FCとともに体験会を開催しました。

フェスティバル、なでしこひろば、そしてキッズや障がい者サッカーの全ての事業に「ディオッサ出雲FC」の活躍なくして成り立たず、県内全域を移動し、女子サッカーの普及に努めています。

【今後の目標】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた約2年間、眠っていた闘志と野望が目覚まし、県内全域を積極的に移動し、活動を展開することが今の大きな目標です。

初めて女子サッカーする女の子を対象としたフェスティバルやなでしこひろばを、そして、その子たちがもっとサッカーをしたいと思える活動機会の創出、チーム紹介、さらにU12、15年代への橋渡しと普及コーディネーターにとって、終わりのないコーディネートがこれからも続きます。2030年島根国体開催が決定しています。U16、成年女子のダブル開催されるというビックイベントに向け、今からしっかりと種をまき、水と栄養を与え、多くのエネルギーを注ぎ、花開く時を待ちわびたいと思います。

普及コーディネーター取り組み事例紹介③

岡山県

丸本 明奈さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

今年度もコロナ禍で制限がある中での、普及活動をできる範囲でできることを行ってきました。新たに、県内の高校女子サッカー部や、FAの技術委員会、各クラブチームがJFAなでしこひろばの開催申請を取得し、キッズ、少女、女子中学生の活動の場が少しでも増えるように、現在まで女子連盟の普及委員が行ってきたJFAなでしこひろばの活動も継続しながら新しくなでしこひろばの開催をする団体、チームが少しずつですが増えてきたことが非常に嬉しく思います。中学生年代の女子クラブチームが少女年代から女子選手が減っていることに対して危機感を持っています。

SNSで各団体でのなでしこひろば活動の案内や、女子の大会、フェスティバルイベント等の告知などの発信を積極的に行うように心がけています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜JFAなでしこひろば、フェスティバルの継続と、新たな試み＞

なでしこひろば、フェスティバルは継続して行っており、募集人数は100名程度と、大規模とまではありませんが、できる限り小規模でも開催できるように動いています。県FA、女子連盟、普及委員会、技術委員会、高校女子のサッカー部、クラブチーム、J2ファジアーノ岡山などと協力し、今年度は、新しい試みで県内の高校女子サッカー部の選手の皆さんに、指導スタッフとしても協力していただきます。

今年度は、技術委員会とも連携し、新たに県内の女子トレセン活動と合同で、中学校女子サッカー部合同練習会を開催しました。8月末に第1回を予定していたが、延期となり、10月末に第1回を開催しました。県内女子トレセン参加19名と、中学校女子サッカー部選手3名で、交流もでき、お互いに刺激を受け、とても良い雰囲気での合同練習会となりました。

告知期間などが十分に確保できなかった為、中学校女子サッカー部の選手にうまく伝達しきれなかったところがあり、中体連の選手が少なかったのですが、今度、継続して開催していくことと、情報を中体連にも活動を展開していくこと、FA全体に周知していただくことが課題です。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

岡山県は、少女、中学生年代の女子選手が減少傾向にあるので、歯止めをかけるために、今後もなでしこひろば等の活動を、各団体、チームが継続して行っていくことをサポートしていきたいです。

新たなU-15の女子クラブチーム発足にむけて、キッズ、4種、3種とも連携をとりながら、小学生から中学生へ、中学生から高校生年代へと橋渡しができるように、また高校卒業後にも、サッカーができる場を提供できるように、世代を超えて交流を深める工夫をしていきたいです。

現在の県内の0-30女子サッカーリーグ戦も10年継続し、8人制で、20代がピッチに2名まで出場できる仕組みを作っています。男子のシニアリーグのように、30代、40代、50代のそれぞれの年代で試合ができるような体制も今後作っていきたいと思います

【今後の目標】

今後も、女子選手、女子指導者、女子審判員を増やすために、普及委員会、審判委員会や技術委員会との連携をもっと深めていくこと、指導者や審判員の資格を取得したけれど現場で活かすことができていない方々や、資格を取るきっかけになるような、関わりがもっとできるように、サッカーに関わる人が増えていくように、いろんな人を巻き込んで働きかけていきたいです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

広島県

根石 敏正さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

今年度広島県では4種女子選手登録者数が少し落ち込んだものの女子選手登録者数の伸びは緩やかに推移している。その中で4種年代からユース年代の登録者数が落ち込んでいる事が課題となっていた。しかし、JFAからの情報もあり中体連に所属している女子選手が多くいる事が分かり、その選手たちがサッカーを続け、高校生年代に繋げる環境をつくる事が新たな課題として挙げられる。

また、フェスティバルや普及活動に関わる女子指導者を増やしていく取り組みを継続的に行う必要がある。女子審判員は現在3級以上の審判員が少なく、FA審判部の協力を得て審判インストラクターによる指導や意見交換などを行いながら、3級審判やユース審判を増やしていきたい。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜4種年代及びユース年代への関わり＞

今年度も新型コロナウイルスの影響があったが、JFA発信の中学校女子サッカーフェスティバル開催の情報を受け、FA選任コーチがいち早く行動を起こし、3種委員長と協力して中体連所属の女子サッカー選手の練習会を実施、10月までで3回実施した。また、女子指導者の活動としてJFAの支援を受け、FAコーチやJFAコーチの指導のもとD級指導者講習会女性コースの開催をコロナ禍の中、感染対策を取りながら実施した。女子審判員はユース年代の審判員の発掘や育成に向けた取り組みが行われ、8月のHiFA平和祈念2021 Balcom BMW CUP広島女子サッカーフェスタでインストラクターによる事前の実技指導や試合前打合せ、試合後の意見交換など多くの女子審判員が貴重な経験を積む事ができた。

*D級指導者講習会の様子



【FA、自治体、クラブ等との関わり】

今年度コロナ禍の中、中体連所属の女子サッカー選手の練習会やD級指導者講習会女性コースなどFAコーチが主導的に早く行動を起こした事が実施に繋がった。今後もFAと情報を共有し、協力頂きながら色々な活動を行っていききたい。

今期広島県では女子サッカー選手が憧れる、女子プロリーグWEリーグにサンフレッチェ広島レジーナが参戦し、またプレナスなでしこリーグにはアンジュヴィオレ広島が所属しており、多くの女子選手がトップレベルのサッカーに触れる環境にある。来年度に向けて、フェスティバルなどでサンフレッチェ広島レジーナやアンジュヴィオレ広島の選手と交流できる場を作ることが重要であると考えている。

【今後の目標】

今年度コロナウイルスの影響のある中で中体連所属の女子サッカー選手の練習会、D級指導者講習などが実施できた事は大きな成果だと思います。しかし、中体連女子練習会の継続や女子指導者不足の問題など地道に活動していくことが大切だと思います。

緊急事態宣言解除後に県内から7チームが参加しガールズゲームが開催され、その後の会議で4種委員長、4種女子部、女子委員長が出席し、ガールズゲームの在り方や普及について意見交換をしました。今後も

4種女子部と女子委員会が協力して協議しながら普及活動を行っていく事を確認した。

女子委員会に普及部ができ、「みんなでサッカー」を目的にウオーキングサッカーや、6人制サッカーなど11月にフェスティバルを行います。今後も各種年代と協力しながら普及部の活動を続けていきます。

今回コロナ禍で普及コーディネーターの活動ができなかった、しかし、コロナ禍の中でも感染対策を取りながらU-12年代の女子サッカー練習会を地域でおこなっているクラブや、高校の情報を得る事ができた。その情報を詳しく調べU-12チームや各地域などに発信する活動をしていきたいと思っています。

普及コーディネーター取り組み事例紹介⑤

山口県

宮本 孝雄さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

今年度も日々の感染者数に一喜一憂するような日々であったが、誰もが大会や試合の延期や中止に慣れてきた面もあり、昨年よりはスムーズに対応していくことができたと思う。特に感染者数の減った10月になってからは堰を切ったようにゲームが再開され、「サッカーのある日常」が徐々に戻りつつある。大変喜ばしいながらも油断すること無くこの日常を守っていききたいと思う。

特に女子としては、当たり前ではあるが選手の年齢が低いほど保護者の疾病に対する警戒感が強く、キッズや4種の大会運営に対する関係者の気苦労は大変なものであり、改めてこの場を借りて御礼を申し上げたい。

山口県では女子登録者数が減少傾向で。中でも、登録してもメリットの少ない一般区分の登録者数が低調に推移している。一般区分の選手は、山口県女子リーグに参加するのが大勢だが、女子リーグの年代別化によって、山口県女子リーグに参加するチーム数が減少しており、悩ましい問題となっている。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜日本らしい女子サッカーの文化を根付かせる！＞

レフリーへの抗議やアピールなど、日本の伝統にはそぐわないサッカー文化を否定し、日本らしい選手のあり方や立ち居振る舞いをベースにした女子サッカーの文化を構築し、山口県に根付かせるため、特に、女子チームの指導者への教育に力を注いでいる。

7月に中学校の部活に所属している女子選手の練習会が開催され、FA専属コーチや女性のトレセンスタッフによる練習が行われた。日頃男子生徒の中で活動している選手たちがより自身のパフォーマンスを発揮できるようにとの目的で開かれたもので、大変好評であった。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

多種多様なスポーツの選択肢がある中、山口県で女子サッカーが生き残っていくためには、県内に5つある高校女子サッカー部を核にした取組が大変重要である。現在、高校女子サッカー部の支援に地元市町が手を挙げるといった事例が芽生えているが、端緒にすぎただけである。

【今後の目標】

サッカーファミリー拡大に向けて、山口県での4種の少女に関する取り組みは年々パワーアップされて、少子化対策として非常に心強く、さらなる発展を願ってサポートしていきたい。また0-30の層の開拓も大事であるが、なかなかマスメディア等で周知する機会がなく、この面での一層の工夫が必要と思われる。



2021年～2022年開催の全国大会について

今年も年末年始にかけて女子の全国大会が各地で開催されます。大会運営にご協力頂く皆様は本当にありがとうございます。各会場やTVの前では是非熱い声援をお送りください！

1) 皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会

-日程：

11月27日(土)～2022年2月27日(日)

-会場：

[1回戦]

セイホクパーク石巻 石巻フットボール場

日東シンコースタジアム丸岡サッカー場

藤枝総合運動公園サッカー場

三木総合防災公園陸上競技場

Axisバードスタジアム

[2回戦]

セイホクパーク石巻 石巻フットボール場

日東シンコースタジアム丸岡サッカー場

三木総合防災公園陸上競技場

[3回戦]

真岡市総合運動公園陸上競技場

藤枝総合運動公園サッカー場

[4回戦]

ケーズデンキスタジアム水戸

長野Uスタジアム

ヤンマースタジアム長居

広島広域公園第一球技場

[準々決勝]

アースケア敷島サッカー・ラグビー場

サンガスタジアム by KYOCERA

ヤンマースタジアム長居

[準決勝]

カンセキスタジアムとちぎ

[決勝]

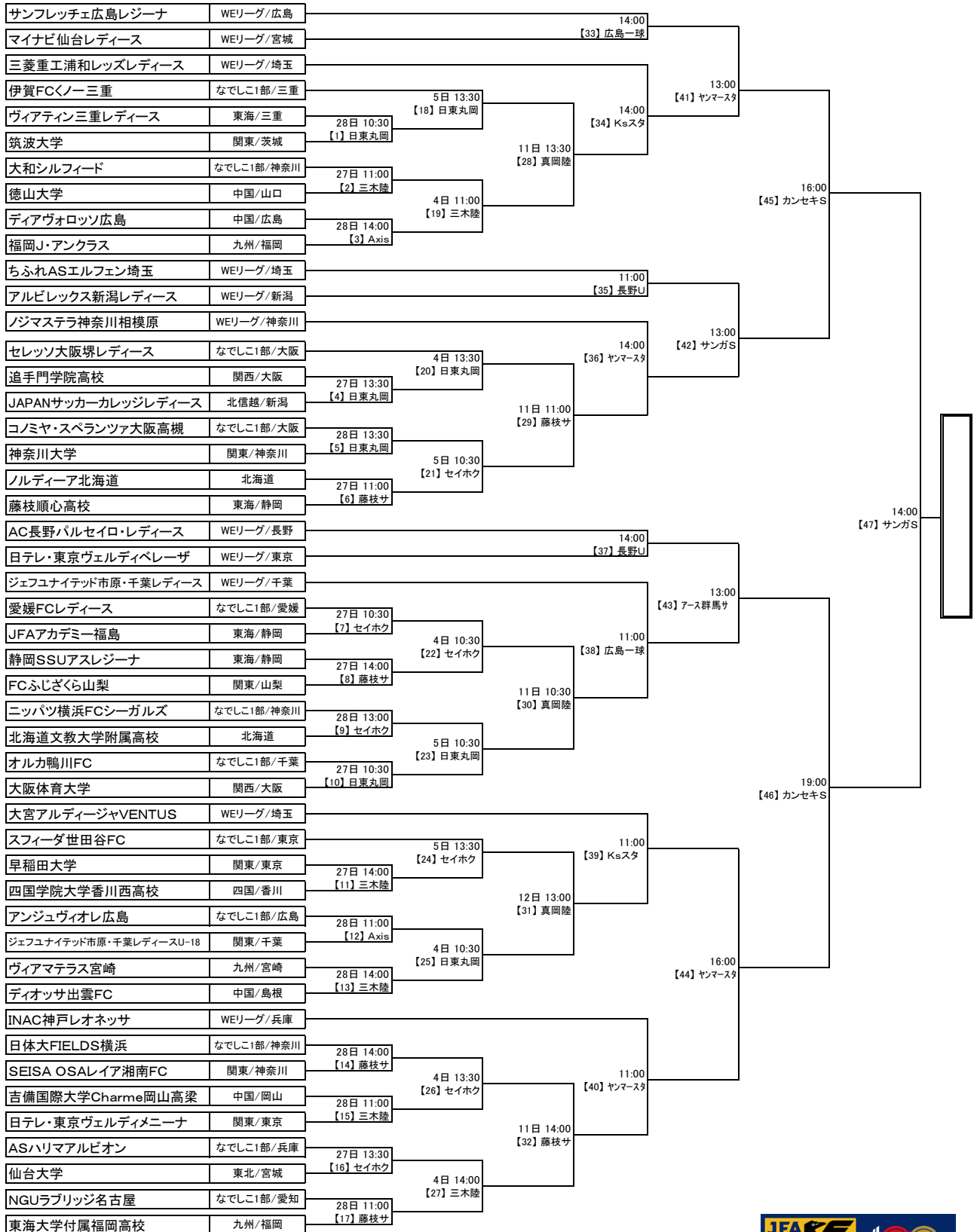
サンガスタジアム by KYOCERA

-大会ページ：http://www.jfa.jp/match/empressscup_2021/



皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会

1回戦 11月27日(土) 2回戦 12月4日(土) 3回戦 12月11日(土) 4回戦 12月25日(土) 準々決勝 12月29日(水) 準決勝 1月5日(水) 決勝 2月27日(日)



2) 高校女子

-日程:

1 回戦	2022 年 1 月 3 日 (月)
2 回戦	1 月 4 日 (火)
準々決勝	1 月 6 日 (木)
準決勝	1 月 7 日 (金)
決勝	1 月 9 日 (日)

-会場:

[1 回戦]

三木総合防災公園 (兵庫県三木市)

└ 陸上競技場/第 2 陸上競技場/みきぼうパークひょうご第 1 球技場/ みきぼうパークひょうご第 2 球技場

五色台運動公園 (兵庫県洲本市)

└ メイングラウンド/サブグラウンド

いぶきの森球技場 (兵庫県神戸市)

└ A グラウンド/B グラウンド

[2 回戦]

三木総合防災公園 (兵庫県三木市)

└ 陸上競技場/第 2 陸上競技場/みきぼうパークひょうご第 1 球技場/みきぼうパークひょうご第 2 球技場

[準々決勝]

三木総合防災公園 (兵庫県三木市)

└ 陸上競技場/第 2 陸上競技場

[準決勝・決勝]

ノエビアスタジアム神戸 (兵庫県神戸市)

3) JFA 第26回全日本U-15女子サッカー選手権

-日程:

1回戦	12 月 11 日 (土)
2回戦	12 月 12 日 (日)
準々決勝	12 月 18 日 (土) 19 日 (日)
準決勝	12 月 25 日 (土)
決勝	12 月 27 日 (月)

-会場:

[1回戦・2回戦]

磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ球技場 (サッカー場)

磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ球技場 (多目的G)

三重交通G スポーツの杜鈴鹿 サッカー・ラグビー場

上野運動公園競技場

長良川球技メドウ

グリーン・フィールド中池

皇子山総合運動公園陸上競技場

野洲川歴史公園サッカー場

[準々決勝]

ウェーブスタジアム刈谷

[準決勝]

AGF フィールド

[決勝]

味の素フィールド西が丘

4) JFA 第25回全日本U18女子サッカー選手権

-日程:

1回戦	2022 年 1 月 4 日 (火)
2回戦	1 月 6 日 (木)
準決勝	1 月 8 日 (土)
決勝	1 月 10 日 (月)

-会場:

J-GREEN堺 (大阪府堺市)

プレナスなでしこリーグ2021 表彰式

10月17日（日）をもって、2021年なでしこリーグがリーグ戦がすべて終了いたしましたので、10月27日（水）に表彰式を開催いたしました。

各賞受賞者は下記の通りです。

今シーズンもなでしこリーグの試合開催に対しご協力いただき、誠にありがとうございました。なお表彰式の模様はYouTube [「なでしこリーグチャンネル」](#)にてご覧いただけます。

2021シーズンを振り返る [「Looking back on 2021/NADESHIKO LEAGUE」](#) も YouTube [「なでしこリーグチャンネル」](#)にて公開中です。

	受賞名	なでしこリーグ1部	なでしこリーグ2部
チーム表彰	優勝	伊賀 F C くノ一三重	J F A アカデミー福島
	第2位	スフィーダ世田谷 F C	バニーズ群馬 F C ホワイトスター
	第3位	セレッソ大阪堺レディース	静岡 S S U アスレジーナ
	フェアプレー賞	愛媛 F C レディース	バニーズ群馬 F C ホワイトスター
個人表彰	最優秀選手	杉田 亜未（伊賀 F C）	松窪 真心（a c 福島）
	得点王	西川 明花（伊賀 F C）	松窪 真心（a c 福島）
	敢闘賞	大竹 麻友（S 世田谷）	—
	新人賞	山田 仁衣奈（愛媛 L）	佐藤 亜実（バニーズ）
	優勝監督賞	大嶽 直人（伊賀 F C）	—

	特別表彰	達成日
200試合 出場選手	加藤 真理 MF（福岡 A N）	2021/5/2
	杉田 亜未 MF（伊賀 F C）	2021/5/23
	小原 由梨愛 MF（ニッパツ）	2021/9/18
	森 仁美 MF（伊賀 F C）	2021/9/19
	高橋 悠 DF（コノミヤ）	2021/10/3
	浅野 未希 MF（コノミヤ）	2021/10/3
	武田 裕季 DF（Aハリマ）	2021/10/17
最優秀審判賞	松尾 久美子	

プレナスなでしこリーグ2021 表彰式の模様



〈なでしこリーグ1部〉
最優秀選手
杉田 亜未（伊賀FC）



なでしこリーグ1部〈ベストイレブン（左から）〉

①藤田 涼加	GK	（伊賀FC）	⑦小山 史乃観	MF	（C大阪堺）
②宮迫 たまみ	DF	（伊賀FC）	⑧杉田 亜未	MF	（伊賀FC）
③作間 琴莉	DF	（伊賀FC）	⑨千葉 園子	FW	（Aハリマ）
④奈良 美沙季	DF	（S世田谷）	⑩大竹 麻友	FW	（S世田谷）
⑤鈴木 千尋	MF	（伊賀FC）	⑪西川 明花	FW	（伊賀FC）
⑥三浦 桃	MF	（名古屋）			

2021プレナスなでしこリーグ 入替戦結果

〈2021プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦〉

大和シルフィード なでしこリーグ2部 降格
 バニーズ群馬FCホワイトスター なでしこリーグ1部 昇格
 ※昇格は12月に開催される理事会にて正式決定

節	日付	キックオフ	会場	ホーム	結果	アウェイ
第1節	10/31 (日)	14:00	敷島	バニーズ	0-1	大和S
第2節	11/07 (日)	13:00	保土ヶ谷	大和S	0-2	バニーズ

〈2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦〉

岡山湯郷Belle なでしこリーグ2部 残留
 ディアヴォロッソ広島 (広島県) なでしこリーグ2部 参入決定
 ヴィアティン三重レディース (三重県) なでしこリーグ2部 参入決定
 ※参入は12月に開催される理事会にて正式決定

節	日付	キックオフ	会場	ホーム	結果	アウェイ
第1節	10/30 (土)	11:00	びんご	DR広島	1-0	R湘南
	10/31 (日)	13:00	美作	湯郷ベル	3-2	V三重
第2節	11/06 (土)	13:00	広域第一	DR広島	0-1	V三重
	11/07 (日)	11:00	三増	R湘南	0-1	湯郷ベル
第3節	11/14 (日)	13:00	美作補1	湯郷ベル	0-2	DR広島
	11/14 (日)	13:00	上野	V三重	0-0	R湘南

◆なでしこリーグ 公式ホームページ <http://www.nadeshikoleague.jp/>

なでしこひろば



【開催の様子をご紹介します】

◆とちぎなでしこひろば（栃木県） 10月8日（金）

参加人数	18:30～19:30	小学生対象	14名（内新規2名）
	19:30～20:30	中学生以上	11名（新規2名）

小学生部門は楽しくボールで楽しくおかしく遊びながらの中にもテクニックを交え、1時間を過ごしています。選手登録をしていない子もありますが、スクールなどで経験がある女子が多く、技術は多少あります。未経験者をもっと多く迎えられるように努力しています。

中学生以上の部に関しては、ウォーキングフットボールを行っています。中学生は中体連の女の子がリピーターで参加してくれており、新規で同じ中体連の友達を誘ってきてくれたりしています。また、お母さん達が断然多く、楽しく、笑いながら活動をしています。栃木ではお母さん達のウォーキングサッカーが盛んになりそうな気がしています。



◆GSS空知（北海道）10月16日（土）

参加者：小学生3・4年生 8名 中学生 1名（運営補助）高校生 2名（運営補助）／ 計11名

家族： 父親2名 兄弟2名

空知地区サッカー協会女子委員会では、今年度申請し4月からの開催を目指しましたが、コロナ渦で急事態措置、まん延防止措置が度重なり、延期、中止を繰り返して、10月に入りやっと開催することができました。

当協会では、昨年度まで約10年間、（公財）北海道サッカー協会の支援事業として「ガールズサッカー スクール空知」を開催してきました。その経験を活かし、新たに「なでしこひろば in 空知」として開催していきます。

今回は小学生3・4年生を主なターゲットしました。サッカー未経験、少年団登録の有無を問わないことで、ひろばの内容は、コーディネーショントレーニングを中心に、サッカーを通して思いっきり体を動かすことにフォーカスした内容をしました。

一部、自己紹介や簡単なトレーニングは中高生が進行しました。次第に話し声、笑い声が聞こえ、会場は活気に溢れました。とにかく「集まる場」づくりを目指して月1回程度開催します。



◆（公財）板橋区体育協会 板橋区サッカー連盟（東京都）10月31日（日）

今回で7回目となる「なでしこひろばinいたばし」を板橋区立小豆沢球技場で開催を致しました。昨年は、コロナ禍で開催できませんでしたが、今年は、検温・消毒・マスクで感染に配慮をしながら、開催を致しました。当日は曇り空ではありませんでしたが、54名のサッカー大好きな小学生から一般の方が参加してくださいました。

中学生以上の方は、東京都リーグに登録をしている板橋区的女子チーム「西台アミーカ」の選手達です。彼女達は、小学生の学年別にグループ分けした指導者の下で、指導のアシスタントをしてくださり、グループ練習を盛り上げてくださいました。指導をするという体験をする事によって、指導者への道も勉強できたのではないかと、微笑ましく思えました。小学生達は、お姉さん達に向かって真剣にパスやドリブルをして楽しんでいました。西台アミーカの選手達は、当日午後に西が丘で開催されましたWリーグを小雨の中観戦に行きました。

なでしこひろばに参加していた小学生の中で、中学生になって、Wリーグの下部組織浦和や大宮に入団が決定した選手も現れました。この活動が、女子サッカーの普及・育成に大切な事業だと実感を致しました。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

全国都道府県別認定団体数及び2021年10月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	15	5	25 滋賀県	7	4
2 青森県	5		26 京都府	8	3
3 岩手県	5	7	27 大阪府	18	4
4 宮城県	10	3	28 兵庫県	10	
5 秋田県	3	1	29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	5	1
8 茨城県	9		32 島根県	1	
9 栃木県	16	6	33 岡山県	11	2
10 群馬県	5		34 広島県	9	
11 埼玉県	36	3	35 山口県	2	
12 千葉県	11		36 香川県	6	
13 東京都	59	11	37 徳島県	5	5
14 神奈川県	24		38 愛媛県	3	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	11	3	40 福岡県	13	1
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	1
18 富山県	4	3	42 長崎県	6	
19 石川県	6	2	43 熊本県	4	1
20 福井県	5	2	44 大分県	5	2
21 静岡県	12	5	45 宮崎県	3	1
22 愛知県	20	3	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5		合計	428	81

【2021年10月データ】

- ・ 全国登録団体数 : 428団体
- ・ 新規登録団体数 : 2団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (59団体)
 - 2) 埼玉県 (36団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・ 全国開催申請数 : 81開催
(9月開催申請数は42開催、39開催増)

9月30日をもって全都道府県で緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、1カ月以上がたちましたが、引き続き新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、なでしこひろばの開催申請数もぐっと増えてまいりました。とても嬉しいことではありますが、これから年末にかけ、第6波も心配されています。感染症対策を徹底し、楽しくなでしこひろばを開催していただければと思います！

【事務局の受け付けが変更になりました】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

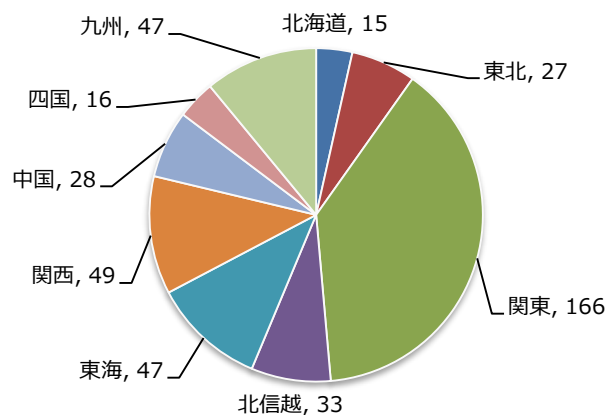
これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp

(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

北海道	15カ所
東北	27カ所
関東	166カ所
北信越	33カ所
東海	47カ所
関西	49カ所
中国	28カ所
四国	16カ所
九州	47カ所
【合計】	428カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2021年12月10日（金）ごろ配信予定です。お楽しみに！